

表1 平成元年度「子育てセミナー」の開催状況

回	会場・期日	シンポジウム・テーマ	講師	小テーマ
1	伊南村民会館 6/9 (金)	「父ちゃんと母ちゃんの子育て通信簿」	1 今野金裕 (県心身障害児総合療育センター) 2 小森澄憲 (郡山女子大学・短期大学部) 3 山川和 (県家庭教育電話相談委員)	●子の心・親知らず? ●子育ては母親まかせ ●ホンモノの子育て
2	石川町体育館 " 中央公民館 9/13 (水)	「変わる時代と家族のありかた～豊かさへの挑戦～」	1 渡辺俊彦 (福島女子短期大学) 2 佐藤藤男 (福島県立聾学校) 3 新家淳子 (県家庭教育電話相談委員)	●子どもの生活と大人の任務 ●おかしな子育て (親を叱る) ●豊かな時代の家庭風景
3	中島村農村環境改善センター 9/19 (火)	「わたしの子育て作戦～頭のよい子か、性格のよい子か～」	1 大宮勇雄 (福島大学教育学部) 2 山崎万紀子 (県家庭教育電話相談委員) 3 緑川ひろ子 (中島村・主婦)	●子どもの成長と親のかかわり ●子育ては自然流で ●子どもから親へ
4	安達町就業改善センター 10/24 (火)	「父ちゃんと母ちゃんの子育て二人三脚」	1 松崎博文 (福島大学教育学部) 2 渡辺晴子 (県家庭教育電話相談委員) 3 菅野登志子 (安達町・主婦)	●父ちゃんも親です ●期待される母親像 ●望ましい親子関係をめぐって
5	いわき市立常磐公民館 11/22 (水)	「変わる時代と家庭のありかた～男女共同参加型社会と家庭～」	1 河野義章 (福島大学教育学部) 2 成田由美子 (県家庭教育電話相談委員) 3 鈴木麗子 (いわき市・主婦)	●男女共同参加型社会と家族のありかた ●母親としての女性としての生きかた ●家庭と学校の役割と協力

別表「ちいさな世界」

放送時間帯		期間	時間帯
2年 3/25	～	元年 10/1	日曜日 (前) 十一時三十分 (十五分間)
再放送 土曜日 (前) 十一時三十分			

長と親のかかわり、「子育ては自然流で」をテーマに小・中学生をもつ母親や父親がなごやかに話し合いました。(参加者はおよそ二百四十名)

ウ 「ちいさな世界」(テレビ放送)

○乳幼児期における育児やしつけについてのアドバイスや情報をテレビ放送を通して提供し、家庭教育番組として利用を図ります。(放送時間等は別表参照)

出演者(講師陣)は、県内の大学や幼稚園の先生、医師など幼児教育の専門家です。

十月十八日(日)に放送された加藤一夫先生(県立医大助教授)の「発育と病氣」に関する視聴者の番組モニターレポートからその一部を紹介いたします。

前半は発育を中心に、運動機能と内臓機能の2つの面から話題が展開していった。運動機能につい

ては絵や図などを使い、わかりやすかったと思う。

後半は「病氣」を中心に展開していったが、「子どもがかかりやすい病氣」を中心に、全体的によく短時間でまとめられていた。

予防接種については受ける時期・年齢などが図や表で示されわかりやすく良かったと思う。アレルギー疾患についても、その原因等が図で示されよくわかった。

川崎病については主症状が4つ程度で示されたが、これは図で示した方が良かったと思います。

私が看護学校時代、川崎病について小児科医の講義を受けましたが、その先生は川崎病の病状を簡単な人物の絵を描いて示しました。これは、頭に焼きつくというか、ひと目見ただけで「あっ、これが川崎病の特徴か」と理解することができました。そうすればイメージもわくと思うし、インパクトが強いのではないかと思います。

川崎病に関しては、症状が図で示されなかったことは残念ですが、よくまとまっていて説明もわかりやすく良かったと思います。

県立医大の先生のお話も、小児科の先生であるだけに、目のことを「おめめ」と言ったりとてもやさしい言い方で、見る方も悪い感じはしませんでした。

そして、最後に「お母さんはお